

防火設備を点検する鏡石分署員（八幡神社）



文化財防火デーに合わせ 町内寺社の設備確認

1月26日の「文化財防火デー」に合わせ、須賀川消防署鏡石分署員と町文化財保護審議委員は同日、鏡石神社（緑町）、笠地蔵（笠石）、八幡神社（鏡田）、宝泉院（笠石）の防火査察を実施しました。
査察では、建物内に設置されている消火器などの消防用設備を点検したほか、火気使用や、日ごろの防火体制の強化について担当者に指導を行いました。

「文化財防火デー」とは？

昭和24年1月26日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺の金堂が炎上したことに由来し、文化財保護と文化財愛護に関する意識の高揚を図るため、昭和30年に定められました。

牧場のあーさー♪ “まちの文化財探訪記” と行く

鏡石町内には、先人たちの残した貴重な文化財が数多くあり、次の世代に伝えるため、保護・保存には町民の皆さんの協力が必要です。

『温故知新』新しきまちづくりの糧となることを願い、町の文化財を紹介していきます。さあ、皆さんも牧場のあーさー♪と一緒に文化財を訪ねましょう。

【第16回】 鍋田自然石板碑

（所在地：川崎町 237番地）

東北自動車道に沿って4基の石碑が立っています。元々は阿弥陀山と呼ばれた小山の一角にありましたが、工事のために現在の場所に移されました。

それぞれの石碑を見ると、第1号（右端）には無量寿経の経文と嘉元4年の年紀、第2号（右から2番目）にはキリクと嘉元2年の年紀、第3号（右から3番目）にはアークが記されています。

このように大きな碑を建て字を彫ることは、一個人の力でなく多くの民衆の力が結集されたものだろうと想像できます。

また、第2号はほぼ原位置をとどめておられ、中世の道路の推定などに役立つことが期待されます。先に述べたとおり、現在は移動され、折れてしまったものも1か所にまとめられた状態であり、鍋田自然石のすぐ右側に

は阿弥陀山来迎三尊図像板碑もあわせて見ることができます。



1番大きいものは2号の石碑で153cmあるんだモ～！



牧場のあーさー♪ の「ここがPoint♪」

- キリクとアークは梵字の種類でそれぞれ阿弥陀如来と大日如来を表すんだモ～
- 問い合わせ先
町公民館 ☎ 62-2031

町と天栄村共同チームが上映会 映画で認知症に理解

認知症の夫とその妻の実話を基にした映画「オレンジランプ」の上映会が2月17日(土)、ほがらかんで行われ、来場者が映画を通じて認知症に理解を深めました。
町と天栄村が共同設置する「認知症初期集中支援チーム」の普及啓発を目的に行われ、上映会後はチーム医で天栄クリニックの外島敬久さんが、認知症や要介護状態でも安心して暮らせる地域づくりについて講演しました。



映画や講演会を通じて認知症に理解を深める参加者

能登半島地震の被災地支援 町赤十字奉仕団が募金活動

町赤十字奉仕団（渡辺啓子委員長）は2月17日(土)、町内で能登半島地震義援金の募金活動を行いました。
募金活動は、同日ほがらかんで行われた映画「オレンジランプ」上映会前と町内の商業施設で実施し、合計58,186円の浄財が寄せられました。
義援金は、日本赤十字社を通して被災地の復興支援に充てられます。温かいご協力ありがとうございました。



ほがらかんで募金を呼び掛ける町赤十字奉仕団の皆さん

町生涯学習文化協会が教室 スマホの操作方法学ぶ

町生涯学習文化協会の「いきいきスマホ教室」が2月20日(火)、ほがらかんで行われ、参加者がスマートフォン利用の基礎知識や操作方法を学びました。
教室は、スマートフォンの利用を通じて高齢者の新たな生きがいづくりに繋げることを目的として行われ、参加者は講師の指導を基に実際に端末を操作し、初めて知る機能に目を輝かせていました。



スマートフォンを実際に操作する参加者

鏡石幼稚園で園児が飾り付け みんなでひな祭りの準備

鏡石幼稚園の園児たちが2月16日(金)、3月3日のひな祭りを前に「ひな人形」の飾り付けを行いました。
七段飾りの立派なひな人形は、幼稚園で長年大切に受け継がれているもので、園児たちはお内裏様やお雛様、細かい小物などを丁寧に箱から出し、高いところは先生に手伝ってもらいながら、男の子も女の子もみんなで協力して飾り付けを完成させました。



ひな人形を飾り付ける園児たち